

第 13 章	社会(地理)	名前:	日 付	No.01
	近畿地方			

[問題 1]

右の地図を見て、各問いに答えよ。

- 地図の A～C にあてはまる地形名を答えよ。(A は川、B は日本で 1 番大きい湖、C は湾)
- 地図の B の湖は、生活用水や工業用水として利用されているため「近畿の何」とよばれているか。
- 次の「 」は琵琶湖の環境を守る運動に参加した人の話である。①、②に適切な語句を入れよ。

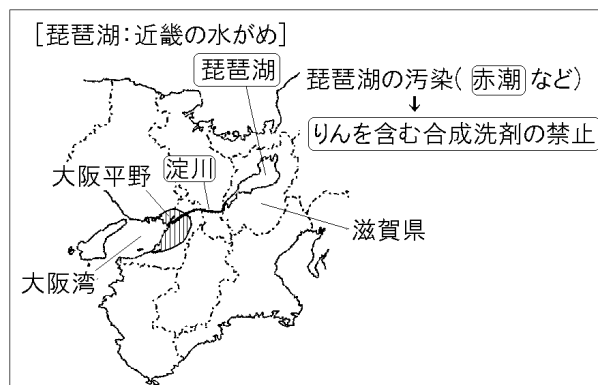


「私たちは昔から、よごれた水を川に流さない工夫をしていました。しかし、生活の変化で日常生活の中で出た排水が川に流れ込むようになると、琵琶湖で(①)が発生するようになりました。そこで私たちは、よごれの原因の一つである(②)を含む合成洗剤を使わない運動を行い、琵琶湖の環境改善運動に取り組みました。これからも琵琶湖の水を大切に使って欲しいです。」

[解答欄]

(1)A 淀川	B 琵琶湖	C 大阪湾	(2) 近畿の水がめ
(3)①赤潮	②りん		

[解説]



琵琶湖は、面積が日本最大の湖であり、湖がある滋賀県の面積の約 1/6 をしめている。

琵琶湖から流れ出る淀川は大阪平野を通して、大阪湾にそそいでいる。淀川をはじめとする水系は、近畿地方の人々の暮らしを支える水の供給源となっており、「近畿の水がめ」とよばれている。

しかし、滋賀県の生活・農業・工業排水が最終的には、ほとんど琵琶湖に流入するため、沿岸の人口や工場が増えるにつれて、赤潮(プランクトンの増殖で水が赤色に変色する現象)が発生するなど、琵琶湖の汚染が深刻な問題になった。

そこで、1979 年に、滋賀県は琵琶湖富栄養化防止条例(琵琶湖の富栄養化の防止に関する条例)を制定してりんを含む合成洗剤の使用禁止を決めた。

[問題 2]

次の各問いに答えよ。

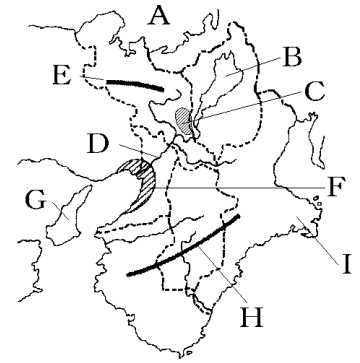
- (1) 地図中の A～I の地形名を次から選んで答えよ。

[淀川 志摩半島 淡路島 紀伊山地 琵琶湖
大阪平野 丹波高地 若狭湾 京都盆地]

- (2) 地図中の A と I に見られる、海岸線が複雑に入り組んだ地形を何というか。

- (3) (2)の海岸はどのようにしてできたか。次から選び記号で答えよ。

ア 急激に地面が削られたり、陥没したりしてできた。
イ 氷河の浸食によってできた谷に海水が入り込んでできた。
ウ 山地の谷であったところに海水が入り込んでできた。
エ 波が少しずつ海岸をけずり、長い年月をかけてできた。



[解答欄]

(1)A 若狭湾	B 琵琶湖	C 京都盆地	D 淀川
E 丹波高地	F 大阪平野	G 淡路島	H 紀伊山地
I 志摩半島	(2) リアス海岸	(3) ウ	

[解説 1]

リアス海岸は、谷の周辺の沈降によって起きたと考えられていたが、気候変動などの研究が進み、最終氷期が終わったことによる世界的な海水面の上昇によるものと考えられるようになった。

[解説 2]

	A 若狭湾 (リアス海岸)	H 大阪湾
	B 琵琶湖	I 紀伊山地
	C 京都盆地	J 志摩半島 (リアス海岸)
	D 淀川	
	E 丹波高地	
	F 大阪平野	
	G 淡路島	

近畿地方の自然環境は、北部と中央低地、南部の3つに分けることができる。

北部は、中国山地から丹波高地にかけてなだらかな山地が続いている。

若狭湾は複雑な海岸線をもつリアス海岸になっている。

中央低地には、日本最大の湖である琵琶湖と淀川を中心に、大阪平野や京都盆地などが広がっている。

南部は、けわしい紀伊山地を中心とした地域で、志摩半島はリアス海岸になっている。

[問題 3]

次の各問いに答えよ。

- (1) 右図の A、B の地域の気候を[]内からそれぞれ選べ。

[瀬戸内の気候 太平洋岸の気候 日本海側の気候]

- (2) A、B の地域の気候の特徴をア～ウからそれぞれ選べ。

ア 夏に降水量が多く、冬に乾燥する。

イ 夏は乾燥して暑く、冬に降水量が多い。大雪になることもある。

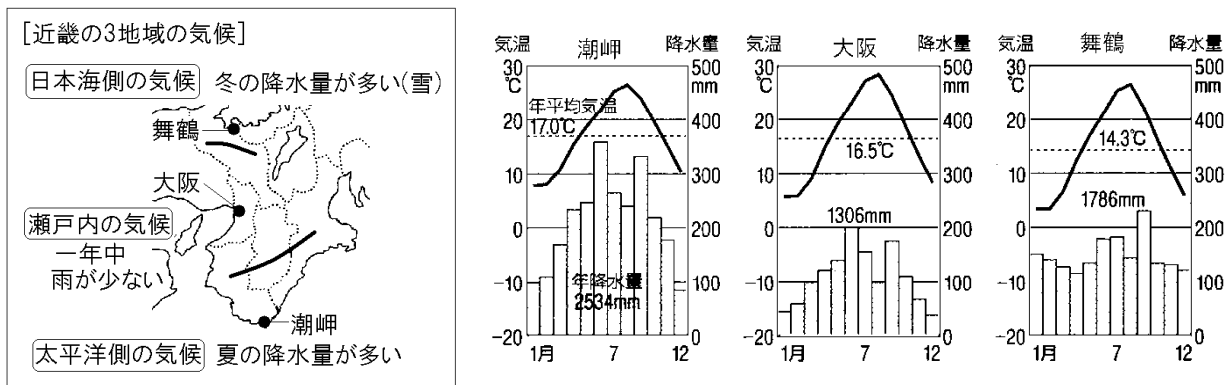
ウ 1 年を通して降水量が少なく、農業用のため池が多い。



[解答欄]

(1)A 瀬戸内の気候	B 日本海側の気候	(2)A ウ	B イ
-------------	-----------	--------	-----

[解説]



近畿地方の北部は日本海、中央部は瀬戸内海、南部は太平洋に面しており、気候は大きく異なっている。

日本海に面した地域は、冬にふく北西の季節風のために、冬の降水量が多く大雪になることもある。

雨温図は、右下の「舞鶴」のように凹型(または口型)になる。

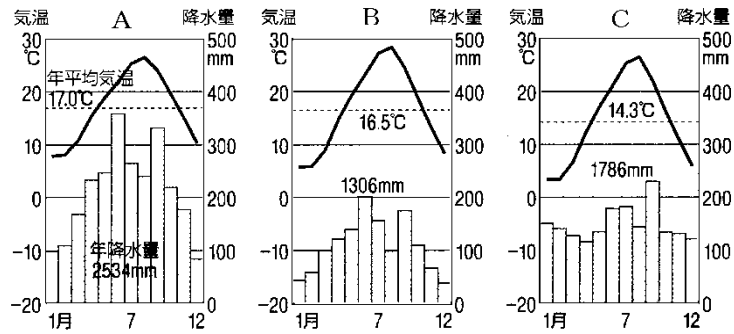
瀬戸内海に面した地域は、温暖で、年間を通して降水量が少ない。右の「大阪」の雨温図のように年間降水量が他の2地域に比べて少ない。

太平洋に面した地域は、夏にふく南東の季節風のために夏の降水量が多い。

「潮岬」の雨温図のように年間降水量が多い。また、黒潮の影響で、年間を通して温暖である。

[問題 4]

次の地図と雨温図について、以下の各問いに答えよ。



- (1) 雨温図 A～C の都市の場所を地図中のア～ウから選べ。
- (2) A の雨温図について、「黒潮」「季節風」の語句を用いて説明せよ。

[解答欄]

(1) A ウ	B イ	C ア
(2) 黒潮の影響で気候は温暖で、夏には南東の季節風の影響で雨が多い。		

[問題 5]

尾鷲市の大台ヶ原は降水量が日本で一番多く、とくに夏に雨が多い。その理由として正しいものを次のア～エから選べ。

- ア 対馬海流の影響を受けるため。
- イ 北西から吹く季節風の影響を受けるため。
- ウ 千島海流の影響を受けるため。
- エ 南東から吹く季節風の影響を受けるため。



[解答欄]

エ